



大里っ子チャレンジ通信

№.20 2017年11月25日(木)

さいたま市立浦和大里小学校チャレンジスクール実行委員会

「スノードーム」を作りました。

朝

5時少し前に寒くて目が覚めました。我が家の愛犬も寒かったと見えて、私の寝床に入っていました。浦和大里小学校から車で小一時間の我が家の外気温は摂氏2度。あらためて冬の訪れを感じました。今回のチャレンジスクールでは「スノードーム」作りにチャレンジしました。実施前日までに材料として使うピンを100円ショップで買いそろえました。一つの店ではチャレンジスクールのメンバーの数だけの在庫が無く、いくつかの店をまわって数をそろえました。どんなものができ上がるかワクワク楽しみで、寒い朝でしたが、目が覚めたところで寝床から出てしまいました。8時過ぎに学校に着いた時、気温は4度でした。



ま

ずは自主学習！いつものように時間までにはみんな元気いっばいに登校し、一生懸命に取り組んでいました。5年生のMKさんは今回も中1レベルの英語の学習に取り組んでいました。「She goes to bed at eleven.」という文の「goes」は何？と質問されました。「三単現のS」という説明をしましたが、「s」だけでなく、「es」となるので、少し難しかったようです。



今回は、職員玄関前の階段を工事する関係で、12時までには校舎を出なければなりませんので、スノードームのご指導をしてくださる浅倉先生も9時には来校し、準備を始めてくださいました。自主学習を早めに切り上げて、いよいよスノードームづくりにチャレンジです。

いつもより早く来校した浅倉先生は、材料のピンのラベルを一つ一つドライヤーで温め、丁寧にはがしてくださっていました。ご息子のKくんも一緒にお手伝いをしてくれていました。いつもながら本当に頭が下がります。

スノードーム作り



今回も浅倉先生がいろいろな材料を用意してくださっていました。赤粋の写真は、クリスマスツリーにするモールを一人分ずつ切り分けているところです。見守りの大人の皆さんも一生懸命お手伝いしてくださいました。感謝、感謝！





①はじめは、ビンの中のクリスマスツリーの土台にする四角い発泡スチロールに、おはして穴を開ける作業でした。途中で発泡スチロールが割れてしまった人もいましたね。

②穴を開けた土台に、クリスマスツリーの幹にするストローを切っています。根元の部分を四等分にするのですが、なぜか三等分になってしまった人がいました。どうしてなのでしょうね???



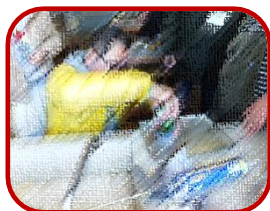
③金色のモールでストローにクリスマスツリーをくくりつけ、プレゼントボックスを土台に貼り、裏返しにしたビンのフタに土台を貼りつけます。

「恐怖の鼻水」

⑤最後にビンに入れたものは、「恐怖の鼻水」でした。・・・浅倉先生のユーモアで、実は「せんたくのり」でした。ビンの中の雪がゆっくり舞い降りるように粘り気を出すために入れました。



④ビンの中に水を入れ、雪に見立てたこまかくくだいた卵のカラやビーズ、ラメなど思い思いのものを入れました。



⑥ビンをさかさまにした時、水が漏れないように、ビンの口のまわりに「コーキング剤」を塗ってフタをしました。浅倉先生が塗ってくれるのを、上級生も下級生も、みんな仲良く、お行儀よく並んで順番を待っていました。感心、感心!!



⑦最後は、ビンのふたのまわりに緑色や赤の紙で飾りつけをして完成です。写真には写っていませんが、赤と緑の紙を切って交互に貼ったり、リボンを作ってはったり、細かく折って蛇腹のようにしたり、それぞれ工夫をしていました。同じものを作るのでも個性が出ていて面白かったです。実行委員長の伊藤さんも児童のお手伝いをして下さっていました。平日も土曜も時間を見つけてはチャレンジスクールの様子を見に来てくださっています。



◎次回（第21回）のチャレンジスクールは、**12月2日（土） 09：30～**です。

◎前半は、いつも通り自主学習に取り組みます。時間いっぱいまで取り組める課題を持ってきてください。（宿題だけ持ってきて、終わったからといって立ち歩いたり、本を読んだりはいけません。チャレンジスクールに入るときの約束です。）

◎後半は、さいたま市の出前講座をやりま。

「さいたま市動物愛護センター」から「名塚岳宏（なづか・たけひろ）」先生をお招きして、「命の大切さ～動物愛護の観点から～」というお話を、動画を見たりしながら聴きます。

=====

※第22回は12月7日（木）です。

書初めにチャレンジします。書道の道具を用意しておいてください。



「柊（ひいらぎ）」

今号の標題のイラストは、柊（ひいらぎ）。

名前の由来は、葉のふちにあるトゲに触ると痛いことから、「ひりひり痛む」を意味する「疼ぐ（ひいらぐ）」が転訛したもの。ひいらぎの花言葉の一つに「先見の明」がある。そんな先を読む能力を持ちたいものですね。